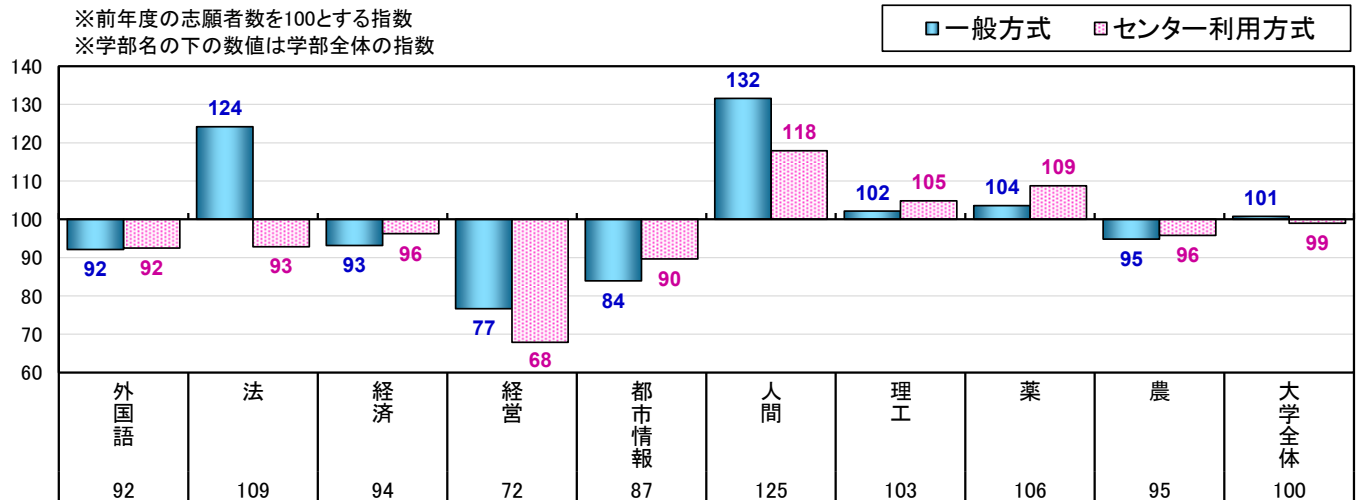


2020 年度入試状況分析【私立大】

名城大：志願者数は4年連続で3万8千人台

一般：+168人 センター：-170人



入試変更点
 改組：理工(環境創造)→(環境創造工)
 選抜方法：外国語、都市情報、人間…〈セ・C方式前期5教科型〉を新規実施
 入試科目：外国語、経済、経営、人間〈A方式、B方式〉…選択から地理除外
 法〈B方式〉…選択から地理除外
 外国語、経済、経営、人間〈セ・プラスF方式〉…個別試験の選択から地理除外
 人間〈セ・C方式前期3教科型、後期〉…選択から理科除外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2人(100)減少しただけの前年度並で、志願者数は4年連続で3万8千人を上回った。学部別では、人間(125)の大幅増加、経営(72)の大幅減少が目立った。

<一般方式>
 ○外国語(92)は、前年度大幅減少の反動はなく、2年連続減少。
 ○法(124)は、大幅増加で3年ぶりに増加。2方式とも増加したが、特に2教科型の〈B方式〉(230)は激増。
 ○経済(93)は、やや減少で3年ぶりに減少。2学科とも減少し、(産業社会)(76)は2年連続大幅減少。
 ○経営(77)は、大幅減少で2年ぶりに減少。2学科とも大幅減少で、いずれも前年度の反動による増減が継続。
 ○都市情報(84)は、大幅減少で前年度の反動による大幅な増減が継続。
 ○人間(132)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。2方式とも大幅増加したが、特に2教科型の〈B方式〉(230)は倍増。
 ○理工(102)は、微増だが2年連続増加。学科別では、(電気電子工)(134)が大幅増加、(応用化学)(112)は3年連続増加。(環境創造工)(87)は前年度大幅減少の反動はなく、2年連続減少。
 ○薬(104)は、やや増加で5年ぶりに増加。
 ○農(95)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、唯一増加の(生物環境科学)(103)もやや増加に留まった。(応用生物化学)(95)は3年連続減少。

<センター利用方式>
 ○外国語(92)は、前年度大幅減少の反動はなく、2年連続減少。
 ○法(93)は、やや減少で3年ぶりに減少。3方式全てが減少。
 ○経済(96)は、2年連続大幅増加の反動は小さく、やや減少に留まった。学科別では、(経済)(102)は微増だが3年連続増加。一方で、(産業社会)(84)は2年連続で60%増加の反動で大幅減少。
 ○経営(68)は、前年度激増の反動で大幅減少。2学科とも減少し、特に(経営)(60)は大幅減少。
 ○都市情報(90)は、2年ぶりに減少。
 ○人間(118)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 ○理工(105)は、やや増加で3年ぶりに増加。学科別では、(電気電子工)(146)が大幅増加で志願者数が学部内で最多となった。(応用化学)(108)は4年連続増加。一方で、(環境創造工)(85)は大幅減少で3年連続減少。(メカトロニクス工)(98)は微減だが、5年ぶりに減少。